

本の森へ行こう!! —本の扉を開いたら、物語が始まります—

図書館には、本がたくさん。本の森です。数え切れないほどの本の中に、数え切れないほどのいろいろな世界が広がっています。それって、ちょっとワクワクしませんか？

さあ、皆さんもお近くの図書館へ出かけてみましょう。本の森を分け入って、新たな出会いを見つけてください。

●絵本は、子供から大人まで楽しめます



左から「お江戸はやくちことば」杉山亮/文 河合楽器製作所・出版事業部
「原寸大 すいぞく館」さかなクン/作 小学館
「もっちゃん もっちゃん もう もっちゃん」土屋富士夫/作 徳間書店
「帰ってきたおとうさんはウルトラマン」みやにしたつや/作 学習研究社

早口で言えない言葉ばかり集めた本、実物大の動物の本、トイレになかなか行き着けない話や、お父さんがウルトラマンの話…
読んで面白かった本は、他の人にも教えてあげてくださいね。

●図書館では調べものができます

杉並区の資料や、いろいろな辞書・事典が置いてあります。本が見つからないときや、わからないことがあるときは、図書館の人に、ぜひ、質問してください。
そして、もしお近くの図書館で解決しないときは、中央図書館の2階に「参考図書室・杉並資料室」や「児童資料室」があります。夏休みなど、どうぞご利用ください。

●読む本に困ったら……

杉並区立図書館では、おすすめの本のブックリストを作成しています。無料で差し上げますので、欲しい方は声をおかけくださいね。
『赤ちゃんといっしょに絵本を』…赤ちゃん絵本リスト
『よんでみよう、1年生』…小学校低学年向け
『いま、この本』…中学生～大人向け
『いま、この本』の年次版は中央図書館のみの配布ですが、1992年～2009年の抜粋版は、各図書館で配布します。

●中学生になったら……

図書館に「ヤングアダルトコーナー」があれば、そこには、主に中高生向けに選ばれた本が置いてあります。ぜひ、のぞいてみてください。また、コーナーがなくても、図書館では中高生におすすめしたい本のブックリスト『いま、この本』を作成しています。ぜひ、図書館で手にとってくださいね。

●各図書館では、子供映画会を行っています

中央図書館では、それに加え、「ちいさなひとのえいががっこう」と共同で、原作絵本を読み聞かせて映画と比較する『お話くらべ』を催しています。親子で参加してみませんか？



●お話を聞くのって、楽しい!

どこか違う世界のお話や、皆さんと同じような体験をする主人公のお話を図書館のお話会で聞くことができます。たまには、耳を傾けてみませんか？



2010 国民読書年

2010年は、国民読書年です。図書館では、お話会や講演会、展示等、様々な企画をご用意して、皆様のご来館をお待ちしています。ホームページや広報等でもお知らせしますが、詳しくは最寄りの図書館にお問い合わせください。また、読書や本に関する事で困りの事がありましたら、ぜひ、図書館にご相談ください。



◎杉並区立図書館◎

中央	☎3391-5754
永福	☎3322-7141
柿木	☎3394-3801
高円寺	☎3316-2421
宮前	☎3333-5166
成田	☎3317-0341
西荻	☎3301-1670
阿佐谷	☎5373-1811
南荻窪	☎3335-7377
下井草	☎3396-7999
高井戸	☎3290-3456
方南	☎5355-7100
今川	☎3394-0431

区内初 施設一体型「小中一貫教育校」の開校準備を進めます

教育委員会は、義務教育9年間を通して一貫した教育活動を図るとともに、学校の適正規模を確保して、児童・生徒に望ましい教育環境を提供していくため、区民等意見提出手続を経て、平成22年5月に「新泉・和泉地区小中一貫教育校設置計画（新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校の統合）」を策定しました。今後はこの計画に基づき、施設一体型「小中一貫教育校」の開校に向けて取り組んでいきます。

◆対象校◆

新泉小学校、和泉小学校、和泉中学校

◆開校場所◆

現在の和泉小学校・和泉中学校の校地

◆開校予定時期◆

校舎の改築・改修、特色ある教育課程の編成等を行う必要があることから、計画策定から5年後の、平成27年4月とします。

◆小中一貫教育校◆

小・中学校の施設、組織・運営を一体化し、児童・生徒、教職員が同一の敷地・校舎で学校生活を共にしながら、義務教育9年間を通して連続した教育活動を行う学校



これまでの取組

3校は平成17年度から先行して小中一貫教育に取り組み、学校間の連携を活発に行うとともに、平成19年度から3校合同で学校支援本部を設置し、学校と地域との連携を進めてきました。

今後の進め方

3校の地域関係者、保護者及び校長等で構成する「小中一貫教育校設置協議会」を設置し、開校に向けて、教育内容、校名、通学区域などの課題について協議の上、決定します。

協議内容は教育委員会ホームページのほか、「協議会ニュース」の発行により、適時お知らせします。

高い道徳性を備えた豊かな人間性の涵養

連続した学びに支えられた学力の着実な向上

義務教育終了後の確かな進路保障

小中一貫教育で期待する効果

— ご意見ありがとうございました —

計画の全文及び寄せられたご意見の概要と教育委員会の考え方は、区及び教育委員会ホームページのほか、次の閲覧場所でご覧になれます。

【閲覧場所】教育改革推進課（区役所東棟6階）、区政資料室（区役所西棟2階）、区民事務所・分室、駅前事務所、図書館 ※各閲覧場所の休業日を除きます。

開校までのスケジュール（予定）

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
児童・生徒 教職員	交流給食、部活動交流 合同授業、合同研究等					開校
校舎 改築等	基本設計、 実施設計		建設工事、 既存校舎等の 整備		校庭 整備	



学校支援本部探訪

緑のカーテンとともに育まれるまちづくりの芽 — 浜田山小学校（浜っこ支援本部）

緑のカーテンは、ヘチマやゴーヤーなど、つる性の植物を窓に這わせることで、夏の強い日差しを和らげる自然のカーテンです。浜田山小学校では、学校支援本部「浜っこ支援本部」と有志の子供たちで昨年初めて挑戦し、その取組みは板橋区「緑のカーテンコンテスト」で審査員特別賞を受賞しました。今年度は、5年生の総合学習「緑のカーテンを作ろう！」として位置づけられ、学校支援本部が授業の提案や運営・進行など大きな役割を果たしています。この日は、子供たちが発芽したゴーヤーを花壇に植えるとともに、ゲストティーチャーから地球温暖化について学びました。



昨年の緑のカーテン



「収穫したゴーヤーの料理法について、地域の製麺所さんからゴーヤー麺のアイデアをいただいたんですよ（笑）。学校を通じて様々な人たちが結びつくことによる思わぬ展開がおもしろいですね！」浜っこ支援本部の今井さんは活動の魅力を笑顔で語っていました。

学校と地域が一体となり、地域に開かれ密着した学校をめざす、その中心的な役割を担っているのが学校支援本部です。その取組みが学校と地域だけでなく、地域の様々な人たちを結びつけて波及効果を生み出していきます。学校づくりはまちづくり、まさにその芽が緑のカーテンとともに育まれていることがうかがえました。

郷土博物館企画展 杉並の考古展2010 — 最近10年間の発掘成果を中心に —



高千穂大学大宮遺跡出土 古墳

昔から水が豊かであった杉並区内では、多くの遺跡が発見されています。これまでも郷土博物館では平成元年と平成12年に考古展を開催し、発掘調査の成果を紹介してきました。前回の展示から10年が経過する中で、区内で初めて古墳が出土するなど新たな発見がありました。

本展では、区内における最近10年間の発掘調査で出土した土器や石器などを展示し、昔の人々の暮らしの一端を紹介します。本展を通じて郷土杉並への親しみを一層深めて頂ければと思います。講演会や体験教室も予定しています。詳しくは広報すぎなみや、郷土博物館HPをご覧ください。

会期：7月24日（土）～9月26日（日）午前9時～午後5時（休館日は毎週月曜日、毎月第3木曜日。祝日の場合は開館し、翌日休館。）

問合せ：郷土博物館（大宮1-20-8） ☎ 3317-0841 観覧料：100円（中学生以下は無料）

“地域をつくる” まちのエネルギーが「本」になりました！ 【縁育ての楽校】 & 【芝生でいこう】

教育委員会では、地域との協働により、さまざまな事業を進めています。そうした事業に関わられた区民の皆さんが、自分たちの経験をより多くの人々に届けたいという思いから、本をつくられました。

えんそだ がっこう 【縁育ての楽校】

平成21年11月に「すぎなみ “だがしや楽校” in 妙法寺」を開き、新たな地域づくりの実践をした「すぎなみ大人塾」の受講生たちが、その経験を踏まえて『縁育ての楽校—みんなが輝く生涯学習実践記』（日本地域社会研究所・1890円）を6月に出版しました。

生涯学習というと、とかく趣味・教養的なものとして個人やグループのなかで完結してしまいがちですが、自分の趣味・特技をお店形式で地域開放的に見せあう経験をした受講生は、「仕事場とも家庭とも違う、別の場所や関係のなかで他者と手をとりあい何かをつくりあげる経験は、自分に自信を取り戻したり、他者から信頼されるなど、人を生き生きとさせるものである」（本書より抜粋）ということを実感しました。

これからの「生涯学習＝大人の楽校」は、じっくりマイペースで「縁育て」をしていながら、「新しい公共」をつくる役割もはたしていける可能性があるのではないか、ということがじわじわと伝わってくる、そんな本になっています。



【芝生でいこう】

平成14年に校庭を芝生化し全国的に有名な和泉小学校では、校庭の芝生を守り育てるボランティア組織「和泉グリーンプロジェクト（GP）」が活動しています。お子さんが6年間芝生を裸足で駆け回って元気に育ったという三浦さんは、「子どもを豊かな環境のなかで育ててもらえた感謝の気持ちから、自分たちのノウハウを必要な人に還元せねば」、という想いで本の出版を計画しました。GP立ち上げから関わられた坪井さんは、

「芝生を通じて学校と地域が育っている」という手応えを広く発信していこうと考えました。本作りが決まると、GPメンバーや保護者の本職が、本の装丁や挿絵、写真などに生かされ、平成22年3月『芝生でいこう—子どもが育つおとなが楽しむ 芝生の校庭』（悠雲舎・1260円）として出版されました。子どもの入学と同時にGPメンバーとなった藤原さんは、「活動を通して地域や学校、よその子たちとの関わりが生まれ楽しんでいきます」とのこと。出版後GPに寄せられる反応をみると、GPメンバーが当初描いた、「芝生にする」といいことありそう」な雰囲気伝わっているよう

です。ホームページ (<http://izumi-gp.jp/>) もありますので、詳細はぜひそちらをご覧ください。

※今年度、「すぎなみ大人塾」は引き続き“だがしや楽校”をテーマに、「和泉GP」は初めての人大歓迎の“Enjoy! GPキャンペーン”を、それぞれ実施しています。地域を感じる、はじめの一歩にいかがですか。（問合せ：社会教育センター ☎3317-6621）

日本語の魅力を知る ～言葉の教育～



独自テキストを読み上げる3年生

ある日の朝、堀之内小学校3年1組の教室から、詩を音読する子供たちの声が聞こえてきました。日本語のもつ美しさや豊かさを感じ取る感性やコミュニケーション力、自己を高める力等の育成を目指し、杉並区では平成21年度から「言葉の教育」の研究推進を始めました。

この取り組みでは、先生方や済美教育センターの国語科担当者により作成された独自の教材を使い、詩、昔話、短歌などの音読や暗唱を通して我国の文化そのものである「日本語」を学びます。言葉の教育は、国語や総合的な学習の時間、家庭学習と組み合わせたり朝学習の短い時間を活用したりするなど、各学校が工夫して行っています。

堀之内小学校でこの日行われた授業では、詩を読み上げるだけではなく、意味や背景も学びました。「この詩を自分の生活に置き換えてみると…」という先生の問いかけに、子供たちは、情景を思い浮かべながら、自分の考えや意見を豊かに表現していきます。

「みんなの意見を聞いたり、自分で色々考えたりできるから楽しい。」と子供たちからも評判の良いこの「言葉の教育」は現在、子供園2園、小学校10校、中学校6校で実施されています。平成23年度には小学校、翌24年度には中学校、子供園、幼稚園の全校・園に導入される予定です。

問合せ：済美教育センター ☎3311-0021

世界を感じる8日間！ ～夏のユネスコ教室に参加してみませんか～

「戦争は人の心の中で起きるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」（ユネスコ憲章前文）

戦争や紛争解決の鍵は、私たち一人ひとりの「人間」にある、という考えに立って平和構築への努力と実践を続けているのが国際機関・ユネスコです。

心の中に平和のとりでを築くユネスコ活動にとって、幼少時から自分達の日々の生活が地球上の多くの人々や自然とのつながりの中で存在することを知り、相手の立場に立って考える力を育むことは大変重要なことです。このような心を育むため、宿泊キャンプ（3泊4日）を含む、約1週間の「ユネスコ教室」を開催します。青年部の高校生・大学生が企画する楽しいプログラムを通じて、外国人学生との交流を図り、文化を越えた友情を育むことができます。



【開催日程】

- ・開級式・事前学習 7月30日・31日（セッション杉並）9：30～12：00
- ・宿泊学習 8月1日～4日（国立那須甲子青少年自然の家）
- ・JICA訪問 8月6日（JICA地球ひろば）10：00～13：00
- ・閉級式 8月7日（セッション杉並）9：30～12：00

*宿泊学習以外の日程についてはご都合に合わせてご参加ください

【対象】区内在住・在学の中中学生および小学6年生

【定員】60名（先着）

【参加費】2万円

【お申込み】はがき・FAX・メールで「行事名、住所、氏名（フリガナ）、年齢、電話番号、性別、学校名、学年」を書いて、社会教育センターへお申込みください。

◎社会教育センター ☎3317-6621 FAX 3317-6620

〒166-0011 杉並区梅里1-22-32 mail: shakyo-c@city.suginami.lg.jp

郷土博物館分館企画展 区民とつくる「荻窪今むかし」展 — 記録と記憶でたどる荻窪の変遷 —

天沼弁天池公園ができるまでの変遷と大正・昭和期の荻窪界隈の様子を、写真や井伏鱒二著『荻窪風土記』に登場し荻窪に在住された矢嶋又次のスケッチなどから紹介します。また、皆さんからの思い出話や当時をしのぶ写真・資料などをもとに展示を更新していくコーナーを設けます。天沼弁天池公園・荻窪界隈の思い出を募集していますので、お心あたりのある方は、ぜひご連絡ください。

会期：6月12日（土）～9月5日（日）午前9時～午後5時（休館日は毎週月曜日、毎月第3木曜日。祝日の場合は開館し、翌日休館。）

問合せ：郷土博物館分館（天沼3-23-1 天沼弁天池公園内） ☎5347-9801 観覧料：無料

「歯の衛生に関する作品」の入賞作品が決定しました!



「歯の衛生に関する作品募集事業」は、杉並区歯科医師会・杉並区学校歯科医会の主催により、「歯の衛生週間（6月4日～10日）」にあわせて毎年実施されています。今年も区立小・中学校の児童・生徒から2,072点の作品の応募があり、6月26日（土）にセッション杉並で優秀作品の表彰式が行われました。



《区長賞》桃井第一小学校4年 岩見 優志



《会長賞》杉並第二小学校1年 野口 ことみ



《会長賞》井荻中学校2年 峠 茉里奈

そのほかの入賞者のみなさん

図画・ポスター

- 《金 賞》西田小学校3年 中村 脩人 桃井第一小学校5年 宮川 花梨
- 高井戸第四小学校5年 大池 久美子 井荻中学校2年 頓所 詩織
- 井荻中学校2年 本郷 碧
- 《銀 賞》7名（小学校6名・中学校1名）
- 《銅 賞》11名（小学校10名・中学校1名）

標語

- 《金 賞》富士見丘小学校2年 栗林 花凧 富士見丘小学校3年 白井 未完
- 松庵小学校4年 槻木 とわ 久我山小学校5年 古手川 由樹
- 東田小学校6年 神崎 あゆみ 高南中学校2年 森本 静奈
- 向陽中学校2年 藏持 那由 泉南中学校2年 菊地 海帆
- 富士見丘中学校3年 中山 貴幸
- 《銀 賞》11名（小学校6名・中学校5名）
- 《銅 賞》14名（小学校8名・中学校6名）

作文

- 《金 賞》該当者なし 《銀 賞》該当者なし 《銅 賞》1名（小学校1名）

また、図画・ポスターの区長賞及び会長賞の3作品と標語の金賞作品のうち1作品（富士見丘小学校2年栗林花凧さん）を東京都歯科医師会で実施する「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」、「歯・口の健康啓発標語コンクール」にそれぞれ杉並区代表作品として出品します。

教育委員が行く、見る、聞く。

平成22年6月14日、大藏雄之助委員長が済美養護学校を訪れ、授業を参観しました。

教育委員は、教育委員会の会議に出席するほか、学校等にも足を運び、教育の今を見聞しています。そうした教育委員の活動を順次紹介していきます。

済美養護学校は、知的障害のある子供のための都内で唯一の区立特別支援学校です。小学部と中学部があり、80人の児童・生徒が通っています。

学校の開校は昭和54年（1979年）ですが、その前身である特殊学級済美学園は昭和26年（1951年）にスタートした、特別支援教育の草分けともいえる学校でした。学校では「育つ」をキーワードに、子供のより良い成長を目指し、一人ひとりのニーズにあわせた教育を日々行っています。

校舎を一周し、全22学級の授業風景を参観した大藏委員長。総合的な学習として取り組んでいる中学部2年生の授業「お店を開こ

う」では、大藏委員長がお客さん役となり、手作りのお菓子や飲み物を注文する等、子供たちと交流し、特別支援学校でのキャリア教育に一役買っていました。



（大藏委員長から）

教育委員に就任して以来、私は済美養護学校のほとんどの行事を見てきました。ただ、少人数指導の教室は、見知らぬ人が入ると気が散るのではないかと遠慮していましたので、今回初めて授業を近くで見学させていただきました。

一般の小・中学校ではみんなで同じ集団行動をすることに抵抗はありませんが、特別支援学校の子供たちは、自分で納得しない限り受け入れません。けれども、やがては社会に出て生活しなければならないのですから、そのときにとまどうことのないように、ここでは個別にそうした練習もしています。

この日の「お店を開こう」は、それぞれが注文を受けてお金をもらったり、お菓子を作ったり、配膳をしたりと、分担作業をする実習でした。金子みすずの詩のとおり、「みんなちがって、みんないい」を実感しました。

お知らせ 平成13年から教育委員を務めていた安本ゆみ委員は、任期満了に伴い、平成22年6月29日付で退任いたしました。

教育委員会の動き（22年3月～5月）

【教育委員会開催状況】 ・定例会 6回 ・臨時会 2回 ・議案 55件 ・報告事項 22件

【主な案件】 ◎は審議、○は報告事項

- ◎「杉並区立小中学校適正配置計画（永福南小学校と永福小学校の統合）」の策定について
- ◎「新泉・和泉地区小中一貫教育校設置計画（新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校の統合）」の策定について
- ◎ 杉並区教育ビジョン推進計画（平成20～22年度）の平成22年度修正について ◎「杉並区子供読書活動推進計画」の改定について
- 平成21年度杉並区学校文化栄誉顕彰について ○ 平成22年度小・中学校への学校司書の配置について
- 学校のアレルギー疾患に対する取組みについて ○ 平成22年度学校適正配置検討対象校と今後の進め方について

●再生紙を使用しています